

株式会社 KIT



 RADEN グラフプラグイン
ユーザーズガイド

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『RADENグラフプラグイン』をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は RADEN のアプリケーション作成用ソフトウェア「グラフプラグイン」について説明いたします。

著作権および商標について

RADEN は、（株）KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2012 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

1.	グラフプラグインについて.....	1
2.	追加される部品.....	1
3.	プラグインを使用する.....	2
3.1	グラフ部品の配置.....	2
3.2	グラフ設定.....	3
3.3	データリンク設定.....	12
4.	各部品の説明.....	13
4.1	グラフ.....	13
4.2	円グラフ・ドーナツグラフ.....	16
4.3	レーダーチャート.....	19
4.4	積上棒グラフ/割合棒グラフ.....	22
4.5	積上面グラフ/割合面グラフ.....	23
4.6	横棒グラフ.....	24
4.7	積上横棒グラフ/割合横棒グラフ.....	25
5.	帳票用部品について.....	26
5.1	データ範囲の設定.....	26
5.2	使用レコード数について.....	27
5.3	設定別の使用例.....	27
6.	部品リファレンス.....	30
6.1	画面部品.....	30
6.2	帳票部品.....	32

1. グラフプラグインについて

グラフプラグインは、グラフの表示機能を追加するプラグインです。

「帳票プラグイン」が導入されていれば、帳票にグラフを印刷することもできます。

2. 追加される部品

グラフプラグインをインストールすることで、以下の部品が使用可能となります。

種類	名称	概要
画面部品	 グラフ	縦棒・折れ線・面・散布図の複合グラフを表示します。
	 円グラフ	円グラフを表示します。
	 ドーナツグラフ	ドーナツグラフを表示します。
	 レーダーチャート	レーダーチャートを表示します。
	 積み上げ棒グラフ	積み上げ棒グラフを表示します。
	 割合棒グラフ	積み上げ棒グラフを割合で表示します。
	 積み上げ面グラフ	積み上げ面グラフを表示します。
	 割合面グラフ	積み上げ面グラフを割合で表示します。
	 横棒グラフ	横棒グラフを表示します。
	 積み上げ横棒グラフ	積み上げ横棒グラフを表示します。
	 割合横棒グラフ	積み上げ横棒グラフを割合で表示します。
帳票部品	 グラフ	縦棒・折れ線・面・散布図の複合グラフを印刷します。
	 円グラフ	円グラフを印刷します。
	 ドーナツグラフ	ドーナツグラフを印刷します。
	 レーダーチャート	レーダーチャートを印刷します。
	 積み上げ棒グラフ	積み上げ棒グラフを印刷します。
	 割合棒グラフ	積み上げ棒グラフを割合で表示し、印刷します。
	 積み上げ面グラフ	積み上げ面グラフを印刷します。
	 割合面グラフ	積み上げ面グラフを割合で表示し、印刷します。
	 横棒グラフ	横棒グラフを印刷します。
	 積み上げ横棒グラフ	積み上げ横棒グラフを印刷します。
	 割合横棒グラフ	積み上げ横棒グラフを割合で表示し、印刷します。

3. プラグインを使用する

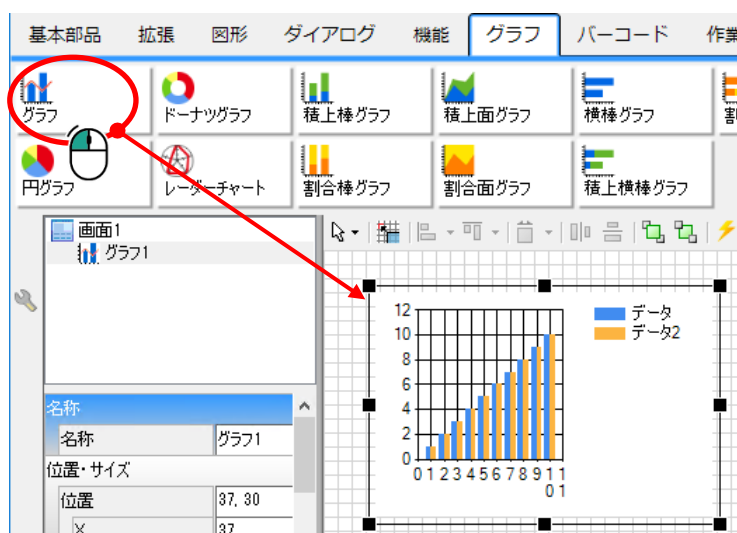
この章では、グラフプラグインの各部品について、基本的な使い方を説明します。

3.1 グラフ部品の配置

画面や帳票にグラフ部品を配置します。

3.1.1 オブジェクトの配置

RADEN の他の画面部品や帳票部品と同様に、部品を画面・帳票のオブジェクト編集エリアにドラッグ&ドロップします。

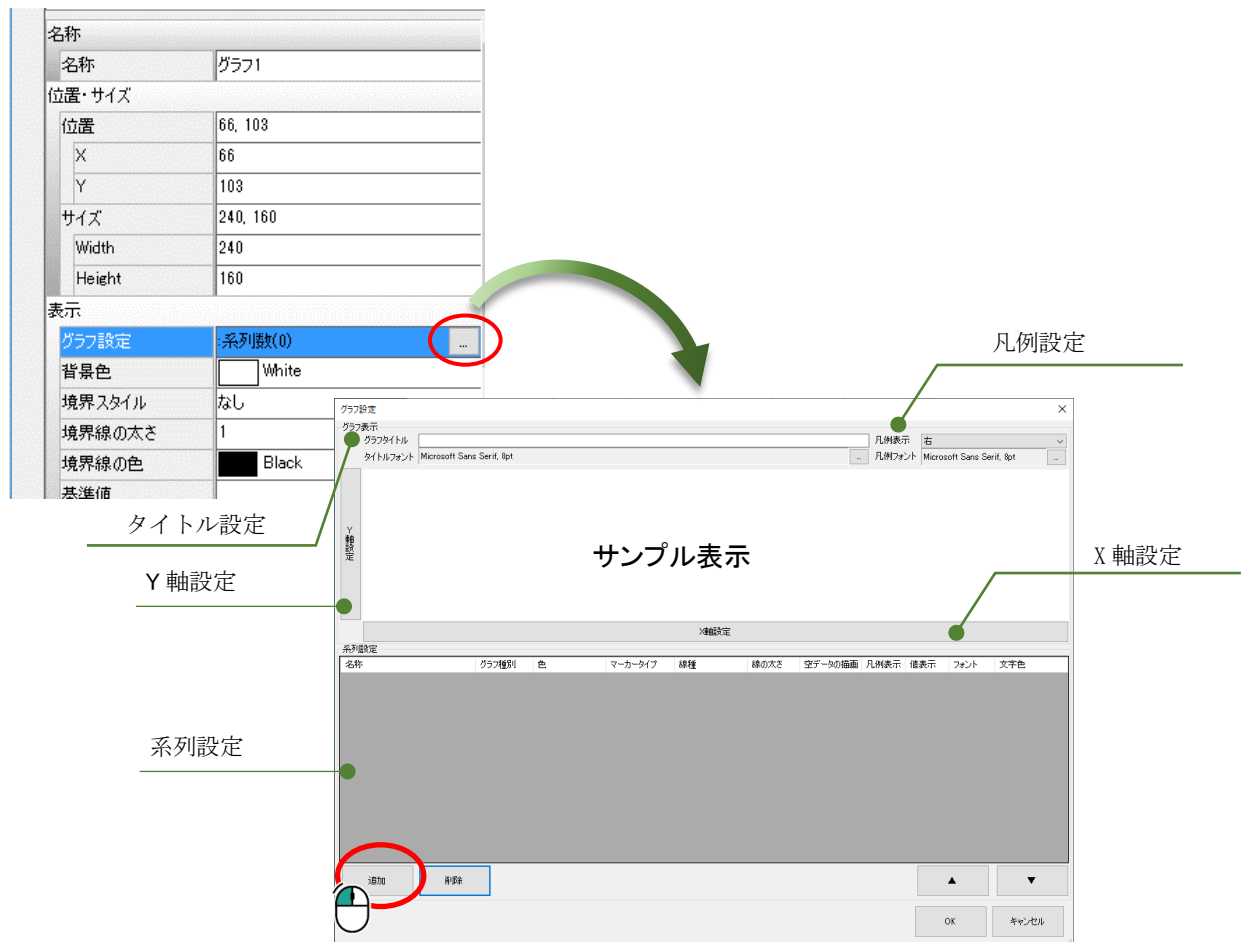


3 プラグインを使用する

3.2 グラフ設定

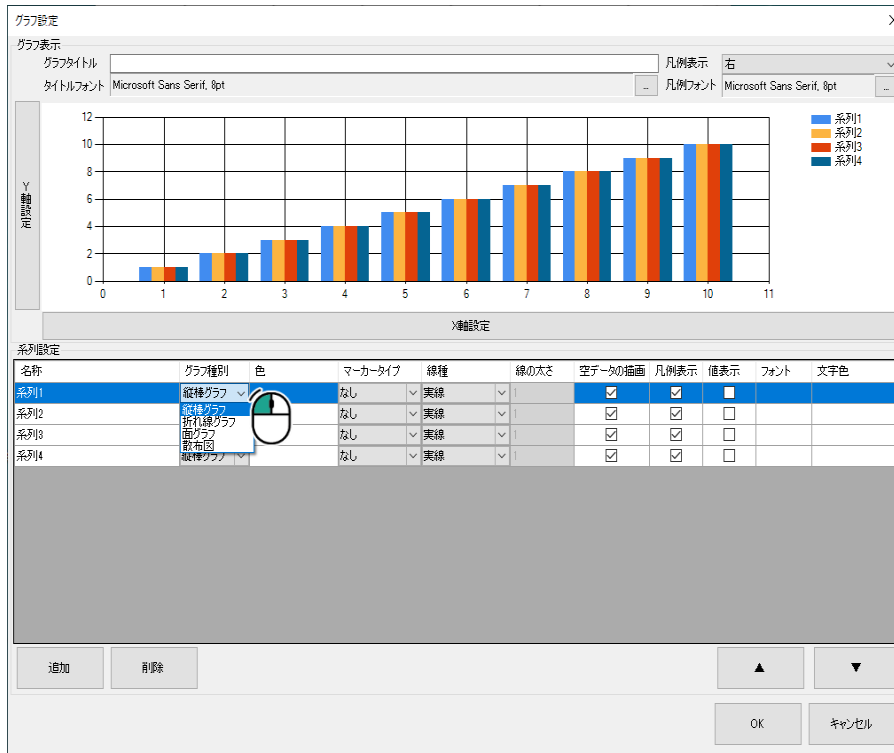
グラフに表示する項目の設定を行います。

グラフ設定は、グラフ部品のプロパティから行います。グラフの各部品を選択すると、プロパティグリッドに「グラフ設定」が表示されます。この項目の編集ボタンをクリックすると、グラフ設定画面が表示されます。



項目	概要
タイトル設定	グラフのタイトルと、そのフォントを設定します。
凡例設定	凡例の表示位置と、そのフォントを設定します。
Y 軸設定	グラフの縦軸の設定を行います。グラフの縦軸を Y 軸と表します。
X 軸設定	グラフの横軸の設定を行います。グラフの横軸を X 軸と表します。
系列設定	グラフに表示する系列の設定を行います。系列は最大 10 まで追加できます。
サンプル表示	グラフがどのように表示されるか、設定結果のサンプルを表示します。

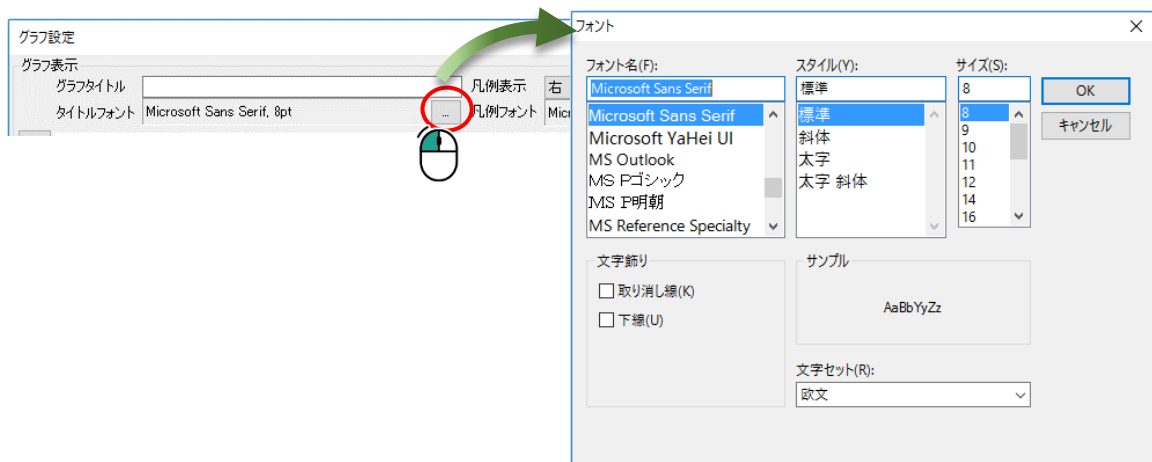
グラフ設定画面左下の「追加」ボタンを押下し、系列を追加します。追加された列のグラフ種別から表示したいグラフを選択します。



3.2.1 タイトル設定

グラフに表示するタイトルの設定を行います。表示する文字列と、そのフォントを設定できます。

タイトルの文字列は、「グラフタイトル」のテキストボックスに直接入力して設定します。フォントは、「タイトルフォント」のボタンをクリックして表示される、フォントのダイアログで設定します。

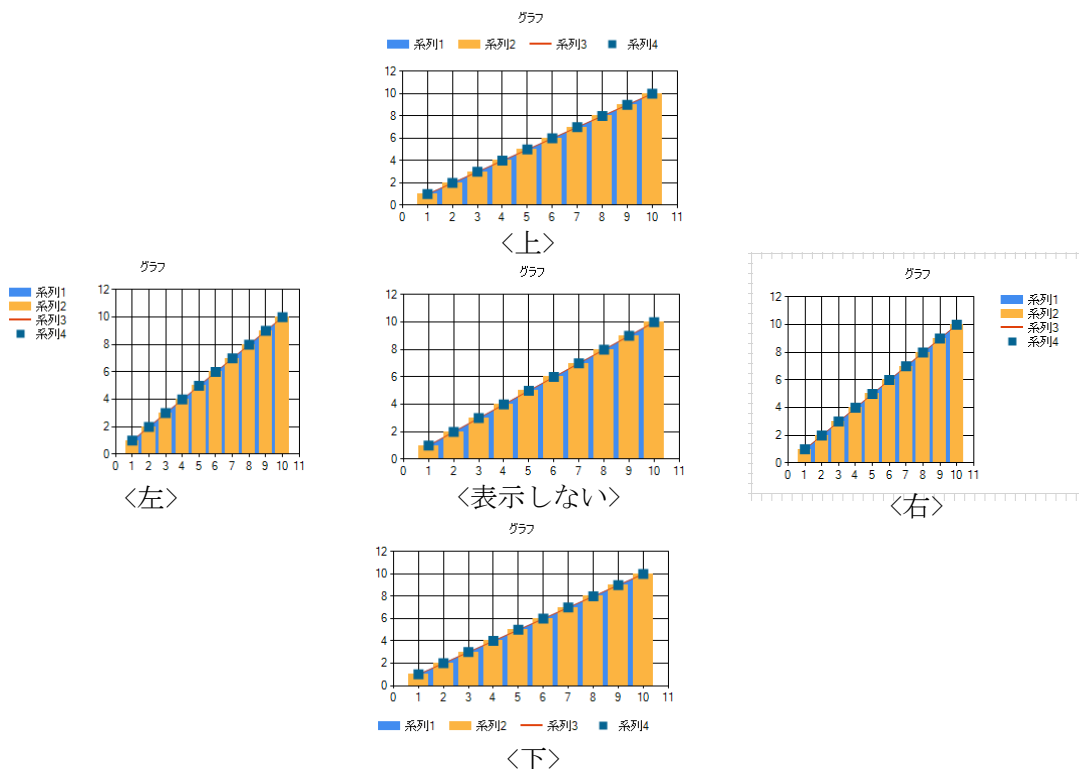


3 プラグインを使用する

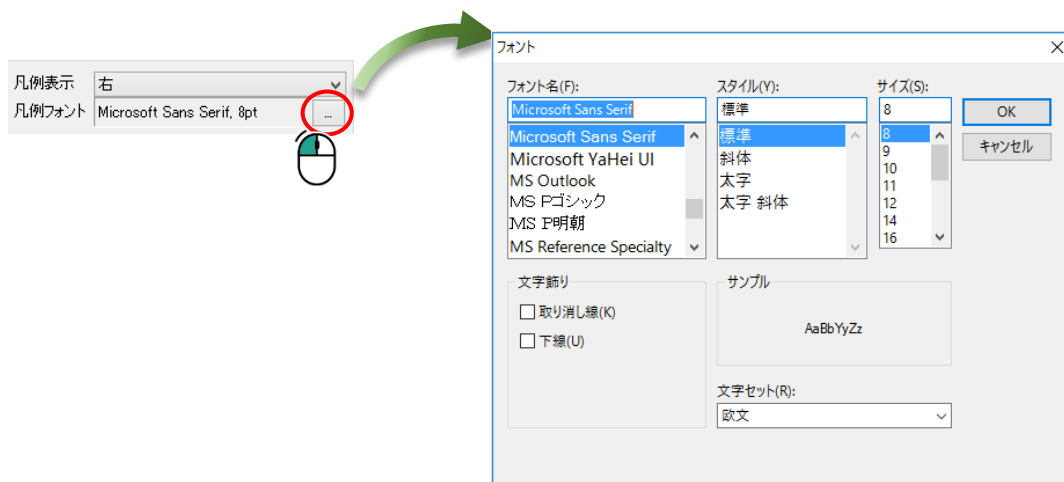
3.2.2 凡例設定

グラフに表示する凡例の位置と、凡例に表示する文字列のフォントを設定します。

凡例の位置は、「凡例表示」のコンボボックスで、「上、右、下、左、表示しない」から選択します。表示位置は、以下のようになります。

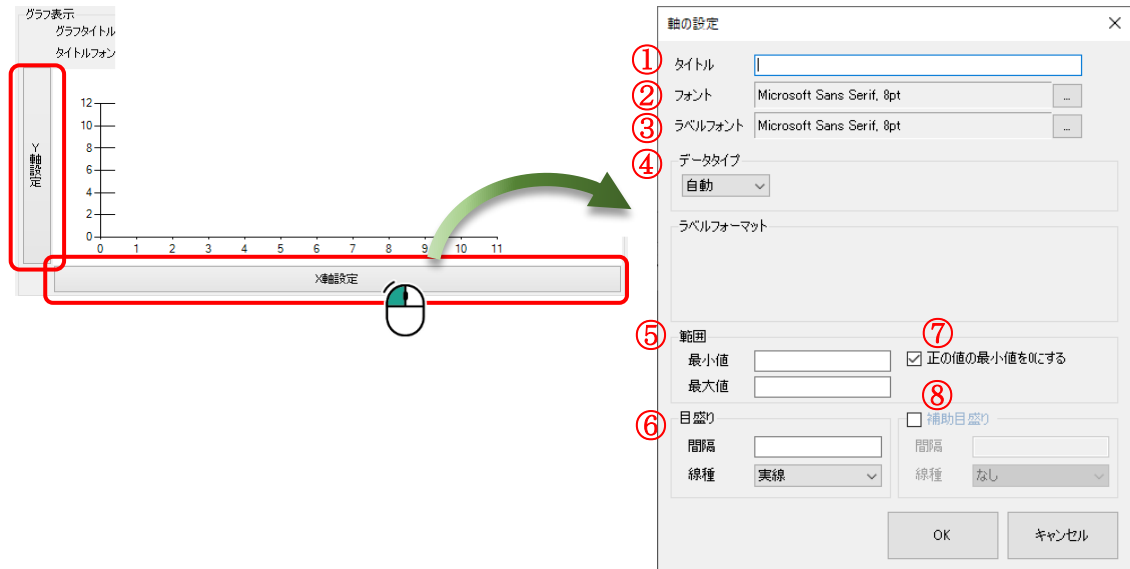


フォントは、「凡例フォント」のボタンをクリックして表示される、フォントのダイアログで設定します。



3.2.3 軸の設定

軸の設定では、グラフの「Y 軸設定」（縦軸）、「X 軸設定」（横軸）の設定を行います。「Y 軸設定」ボタン、「X 軸設定」ボタンをクリックすると「軸の設定」画面が表示されます。



項目	概要
①タイトル	軸に表示するタイトルを設定します。
②タイトルフォント	軸のタイトルのフォントを設定します。
③ラベルフォント	軸のラベルのフォントを設定します。
④データタイプ	軸に表示するデータのタイプを設定します。 「自動」「数値」「日時」のいずれかを選択します。 設定内容については後述します。
⑤範囲	グラフの縦軸の表示範囲を設定します。
⑥目盛り	グラフの縦軸の目盛りの間隔と、線種を設定します。
⑦正の値の最小値を 0 にする	全てのデータが正の値である場合、軸の起点を 0 とするよう設定します。 この設定は「グラフ」「横棒グラフ」「レーダーチャート」の Y 軸の設定で表示されます。
⑧補助目盛り	縦軸の補助目盛りをグラフに表示するかと、その間隔、線種を設定します。

1. データタイプの設定

データタイプの設定では、軸で使用するデータのタイプを「自動」「数値」の 2 種類から選択します。

また、「グラフ」「積上棒グラフ」「割合棒グラフ」「積上面グラフ」「割合面グラフ」の X 軸、「横棒グラフ」「積上横棒グラフ」「割合横棒グラフ」の Y 軸では、「日時」型の「年」「月」「日」「時」「分」「秒」を使用することができます。

3 プラグインを使用する

「自動」を選択した場合は、従来通りデータリンクで受け取ったデータをもとに自動で軸が設定されます。「数値」「日時」を選択した場合は、それぞれの形式に変換して設定されます。

また、「数値」「日時」については、ラベルに表示するデータのフォーマットを指定できます。

＜数値の設定＞

ラベルフォーマット

小数点以下の桁数 サンプル 10001

☐ 桁区切り

数値設定では、小数点以下の桁数と桁区切りの「,」を表示するかを指定します。

例：小数点以下3桁、桁区切りありの場合

小数点以下の桁数 サンプル 10,000.500

☒ 桁区切り

＜日時の設定＞

ラベルフォーマット

サンプル 2020/11/13 AM10:05:48

☒ 年 ☒ 月 ☒ 日 ☒ 時 ☒ 分 ☒ 秒

日時設定では、日時の表示形式と表示する要素を選択します。

表示形式は以下の4種類から選択します。

yyyy/mm/dd 12h:mm:ss	日付を「/」、時間を「:」で区切った日時を12時間表記で表示します。
yyyy/mm/dd 24h:mm:ss	日付を「/」、時間を「:」で区切った日時を24時間表記で表示します。
yyyy 年 mm 月 dd 日 12h 時間 mm 分 ss 秒	和暦の日時を12時間表記で表示します。
yyyy 年 mm 月 dd 日 24h 時間 mm 分 ss 秒	和暦の日時を24時間表記で表示します。

年月日時分秒でチェックされた項目をラベルに表示します。

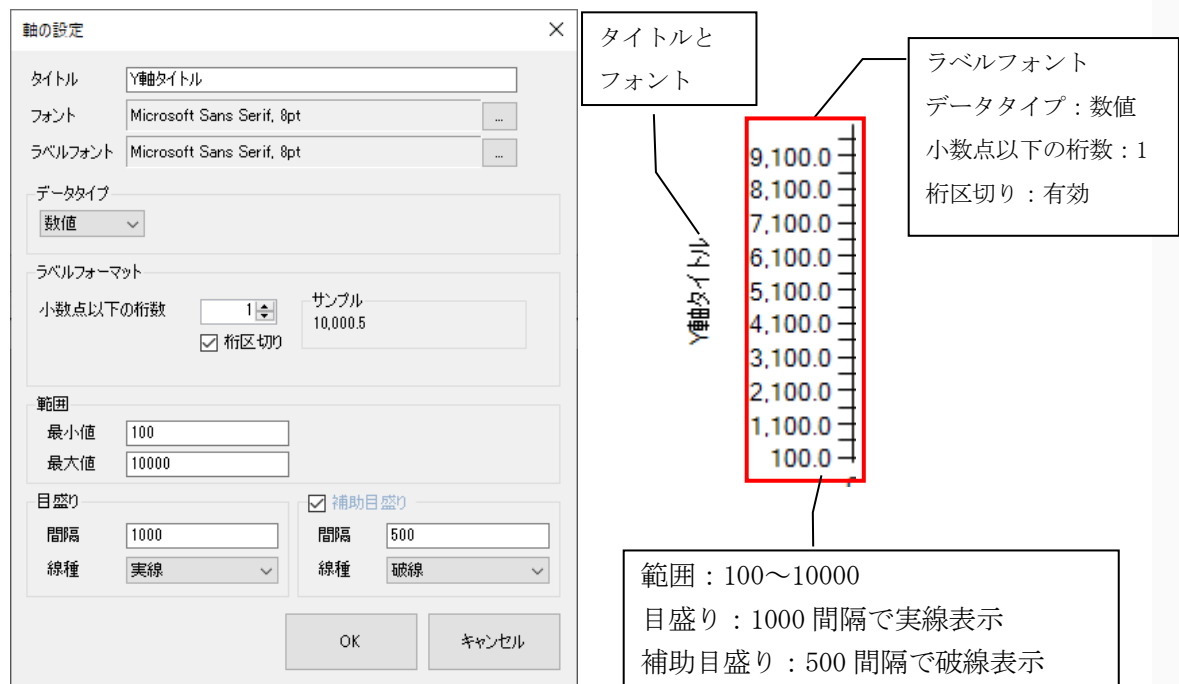
例：和暦12時間表記、年月日と時間まで表示の場合

サンプル 2020年11月20日 午後04時

☒ 年 ☒ 月 ☒ 日 ☒ 時 ☐ 分 ☐ 秒

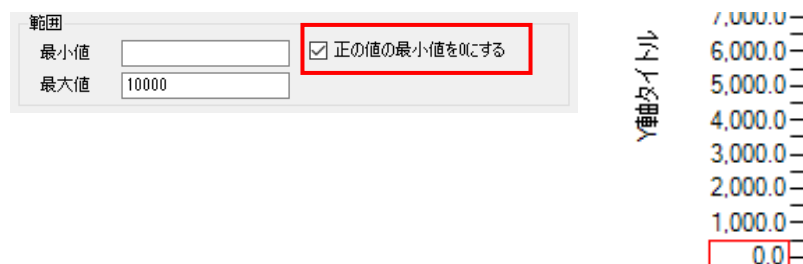
2. Y 軸の表示内容

Y 軸の設定は、グラフ上で下図のように反映されます。

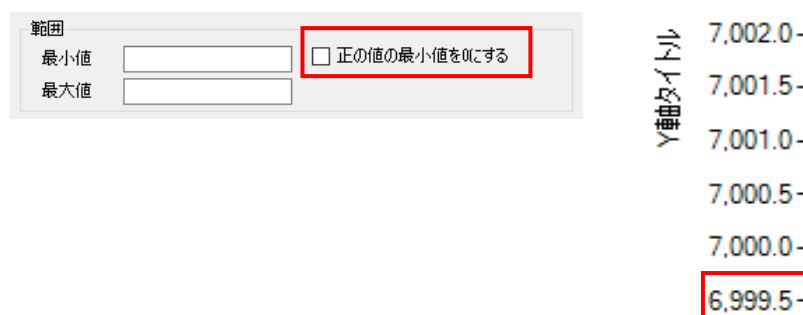


「グラフ」「横棒グラフ」「レーダーチャート」のY 軸設定では「正の値の最小値を 0 にする」が表示されます。

「正の値の最小値を 0 にする」をチェックした場合、軸の値が全て正の数値となる状態では常に 0 を起点とて表示します。



「正の値の最小値を 0 にする」をチェックを外した場合は、数値の範囲に応じた最小値が設定されます。



どちらの場合でも、最小値が設定されていた場合はそちらが優先されます。

3 プラグインを使用する

3. X 軸の表示内容

X 軸の設定は、グラフ上で下図のように反映されます。

軸の設定

タイトル: X軸タイトル

フォント: 游ゴシック, 9.75pt

ラベルフォント: Yu Gothic UI, 6.75pt

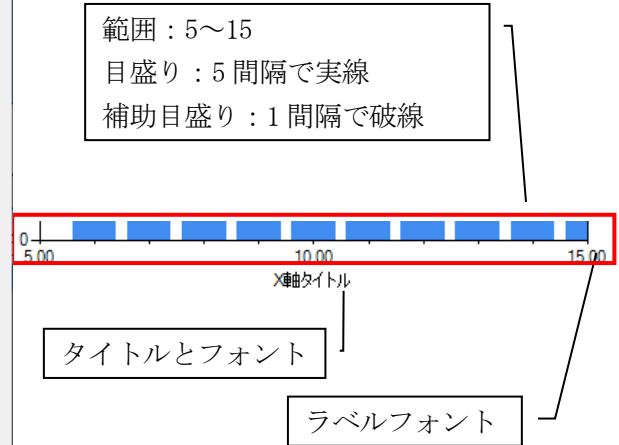
データタイプ: 数値

ラベルフォーマット: 小数点以下の桁数: 2, サンプル: 10,000.50, 桁区切り: ☒

範囲: 最小値: 5, 最大値: 15

目盛り: 間隔: 5, 線種: 実線, 補助目盛り: ☒ 間隔: 1, 線種: 破線

OK キャンセル



3.2.4 系列設定

系列設定では、グラフに表示するデータの系列を設定します。

名称 ①	グラフ種別 ②	色 ③	マーカータイプ ④	線種 ⑤	線の太さ ⑥	空データの描画 ⑦	凡例表示 ⑧	値表示 ⑨	フォント ⑩	文字色 ⑪
系列1	縦棒グラフ		なし	実線		☒	☒	☐		
系列2	折れ線グラフ		なし	実線	1	☒	☒	☐		
系列3	面グラフ		なし	実線		☒	☒	☐		
系列4	散布図		なし	実線		☒	☒	☐		

項目	概要
①名称	系列の名称。円グラフ・ドーナツグラフ・レーダーチャート以外の部品では、ここに設定した名称が凡例に表示されます。
②グラフ種別	「グラフ」部品でのみ、グラフの種別を選択します。 「縦棒グラフ」「面グラフ」「折れ線グラフ」「散布図」の4種類から選択します。
③色	系列の色を設定します。
④マーカータイプ	グラフ上の、値の位置に表示するマーカーの種類を選択します。 「四角形」「円形」「ひし型」「三角形」「×型」の5種類から選択します。
⑤線種	線の種類を選択します。「なし」「鎖線」「一点鎖線」「二点鎖線」「点線」「実線」の6種類から選択します。 この設定は、グラフ種別に「折れ線グラフ」を選択した場合のみ有効です。

⑥線の太さ	線の太さを数値で設定します。この設定は、「線種」と同様にグラフ種別に「折れ線グラフ」を選択した場合のみ有効となります。
⑦空データの描画	空データを描画するかを設定します。
⑧凡例表示	系列を凡例に表示するかを設定します。
⑨値表示	グラフに値を表示するかを設定します。
⑩フォント	グラフに表示する値のフォントを設定します。 この設定は、「値表示」を有効にした場合のみ反映されます。
⑪文字色	グラフに表示する値の文字色を設定します。 この設定は、「値表示」を有効にした場合のみ反映されます。

設定可能な項目は、グラフ部品によって異なります。

グラフと設定項目の対応は下表を参照して下さい。

○・・・設定可能な項目

部品	設定項目										
	名称	グラフ種別	色	マーカータイプ	線種	線の太さ	空データの描画	凡例表示	値表示	フォント	文字色
グラフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
円グラフ	○		○							○	○
ドーナツグラフ	○		○							○	○
レーダーチャート	○										
積上棒グラフ	○		○					○	○	○	○
割合棒グラフ	○		○					○	○	○	○
積上面グラフ	○		○				○	○	○	○	○
割合面グラフ	○		○				○	○	○	○	○
横棒グラフ	○		○					○	○	○	○
積上横棒グラフ	○		○					○	○	○	○
割合横棒グラフ	○		○					○	○	○	○

系列の設定はアクションからも設定できます。設定項目は「6. 部品リファレンス」の「6. 1. 1 系列」をご参照ください。

3 プラグインを使用する

3.2.5 表示設定

円グラフ、ドーナツグラフでは、グラフ内に系列の名称やデータの値を表示できます。
名称や値を表示したい場合、ラベルへの表示設定が必要です。

表示設定

☒ ラベルに名称を表示
☒ ラベルをグラフ外に表示
☒ ラベルに値を表示

ラベルデータタイプ

日時 日

ラベルフォーマット

yyyy年mm月dd日 24h時mm分ss秒

サンプル 2022年12月14日 17時28分22秒

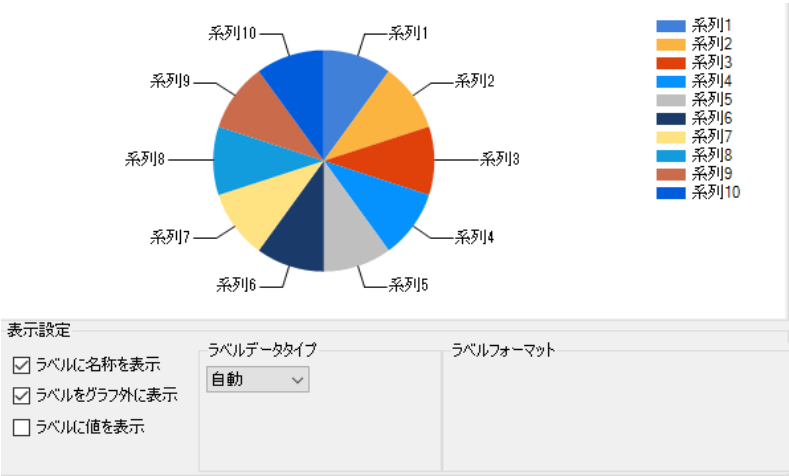
☒ 年
 ☒ 月
 ☒ 日
 ☒ 時
 ☒ 分
 ☒ 秒

色設定	色	値表示	フォント	文字色
系列1	64, 128, 216	☒	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列2	252, 180, 65	☒	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列3	224, 64, 10	☒	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列4	5, 146, 255	☒	MS UI Gothic, 9pt	Black

表示設定の項目を組み合わせて表示するラベルの設定ができます。
これらの設定は、「値表示」が有効の場合のみ反映されます。

項目	概要
①ラベルに名称を表示	系列の名称をグラフに表示します。
②ラベルをグラフ外に表示	ラベルに表示した名称・値をグラフの外に表示します。
③ラベルに値を表示	データの値をグラフに表示します。
④ラベルデータタイプ	ラベルのデータタイプを指定します。 設定内容は軸のラベル設定と同一です。 (3.2.3. 軸の設定 参照)
⑤ラベルフォーマット	ラベルの表示フォーマットを設定します。 設定内容は軸のラベル設定と同一です。 (3.2.3. 軸の設定 参照)

表示設定で、「ラベル名に名称を表示」「ラベルをグラフ外に表示」を選択した場合、以下のように表示されます。



3.3 データリンク設定

グラフに表示するデータは、データリンクを使用して設定します。
データリンクの対象となる項目は、グラフ部品によって異なります。

部品	設定項目
グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
円グラフ	固定の「ラベル」「データ」
ドーナツグラフ	固定の「ラベル」「データ」
レーダーチャート	固定の「系列名」と、グラフ設定画面で追加した系列の項目
積上棒グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
割合棒グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
積上面グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
割合面グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
横棒グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
積上横棒グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値
割合横棒グラフ	グラフ設定画面で追加した系列の項目それぞれに対する、X/Y の値

4. 各製品の説明

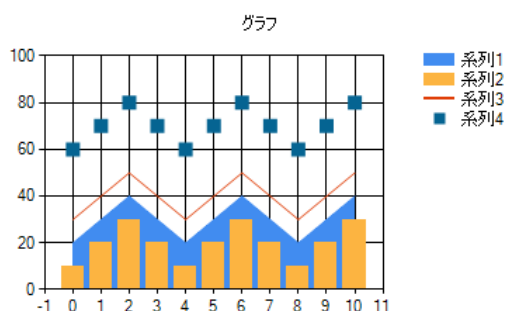
グラフプラグインの基本的な設定について説明しました。この章では、それぞれのグラフ部品固有の機能について説明します。

4.1 グラフ

グラフ部品は、縦棒グラフ・折れ線グラフ・面グラフ・散布図の4種類のグラフの複合グラフを表示・印刷する部品です。

グラフに表示するデータは、「系列」という単位で表します。

以下の例では、4つの系列を設定し、それぞれの系列に異なるグラフ種別を設定しています。



4.1.1 グラフ設定

グラフ部品のグラフ設定画面です。

名称	グラフ種別	色	マーカータイプ	線種	線の太さ	空データの描画	凡例表示	値表示	フォント	文字色
系列1	縦棒グラフ	なし	なし	実線	1	☒	☒	☐		
系列2	縦棒グラフ	なし	なし	実線	1	☒	☒	☐		
系列3	縦棒グラフ	なし	なし	実線	1	☒	☒	☒		

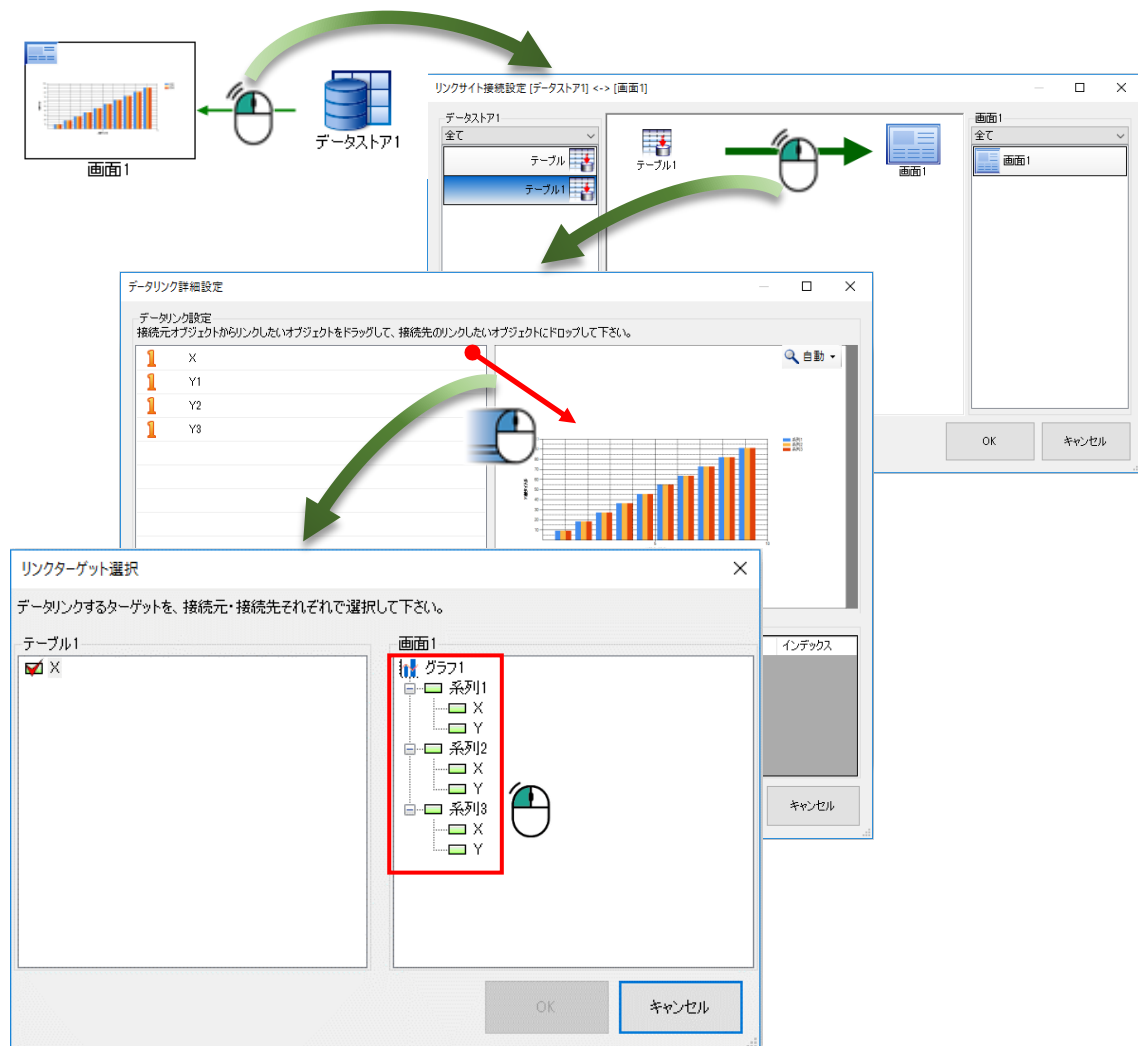
追加 削除 OK キャンセル

「グラフ」部品では、グラフ設定画面の全項目について設定します。

系列は10件まで追加でき、それぞれのグラフ種別にグラフタイプを設定できます。複数のグラフを表示する複合的なグラフの作成が可能です。

4.1.2 データリンク設定

グラフ部品に表示したいデータを設定します。データコネクタをダブルクリックし、データリンク詳細設定画面を表示します。接続対象にグラフを選択するとリンクターゲット選択画面が表示されます。リンクターゲット選択画面でグラフの系列それぞれの X 軸、Y 軸に割付したいデータをクリックで設定します。



「系列 1」～「系列 3」の 3 つの系列を設定しています。

4 各製品の説明

4.1.3 使用例

グラフ設定画面で追加した系列「X、Y1、Y2、Y3」に対して、それぞれのデータを指定します。

〈データ〉

テーブルデータ編集 [テーブル1]

	X	Y1	Y2	Y3
0	10	100	50	
1	20	90	50	
2	30	80	50	
3	40	70	50	
4	50	60	50	
5	60	50	50	
6	70	40	50	
7	80	30	50	
8	90	20	50	
9	100	10	50	
*				

OK キャンセル

〈データリンク詳細設定〉

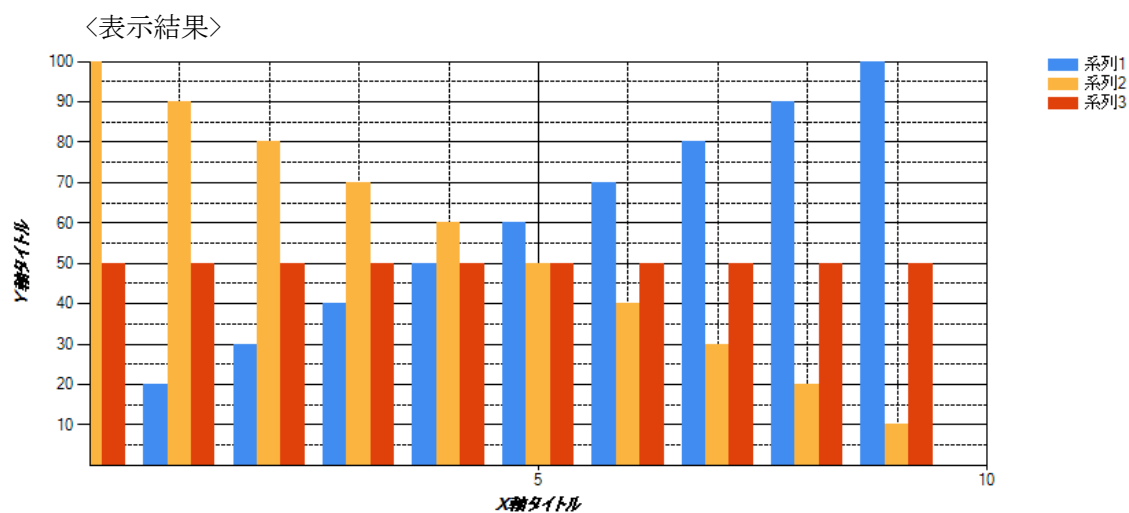
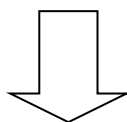
データリンク詳細設定

接続元オブジェクトからリンクしたいオブジェクトをドラッグして、接続先のリンクしたいオブジェクトにドロップして下さい。

リンク設定リスト

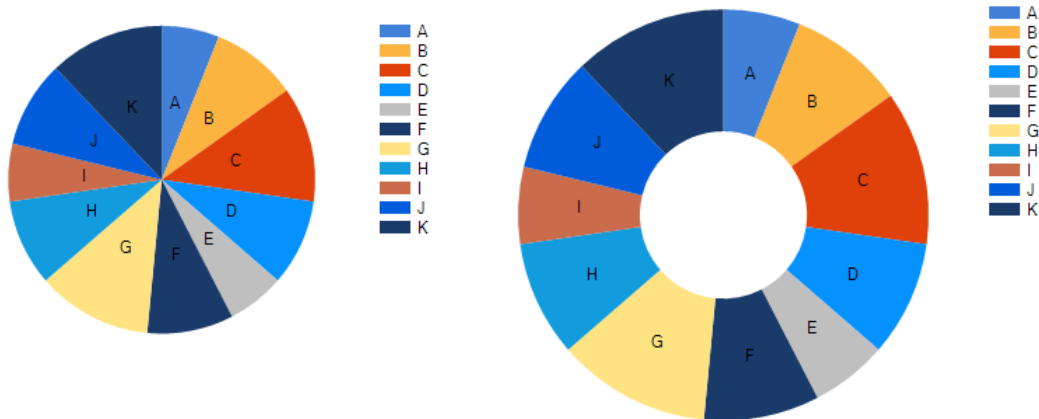
接続元	接続先	インデックス
X	グラフ1系列1X	全1コード
Y1	グラフ1系列2X	全1コード
Y2	グラフ1系列3X	全1コード
Y3	グラフ1系列1Y	全1コード

OK キャンセル



4.2 円グラフ・ドーナツグラフ

円グラフ・ドーナツグラフ部品は、円全体を 100 として、その割合毎に色で区切ったグラフを表示・印刷する部品です。



4.2.1 グラフ設定

円グラフ部品のグラフ設定画面です。

ドーナツグラフ部品のグラフ設定画面は、サンプルに表示されるグラフ以外、円グラフと全て同一です。

名称	色	フォント	文字色
系列1	64, 126, 216	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列2	252, 180, 65	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列3	224, 64, 10	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列4	5, 146, 255	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列5	191, 191, 191	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列6	26, 59, 105	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列7	255, 227, 130	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列8	18, 156, 221	MS UI Gothic, 9pt	Black
系列9	202, 167, 75	MS UI Gothic, 9pt	Black

円グラフ・ドーナツグラフ部品の系列設定は、あらかじめ設定された「系列1」～「系列10」までの10系列の色を設定します。

系列の数は、データのレコード数によって決まります。データの件数が10件を超える場合、11件目のデータは「系列1」に設定した色から、繰り返し表示されます。

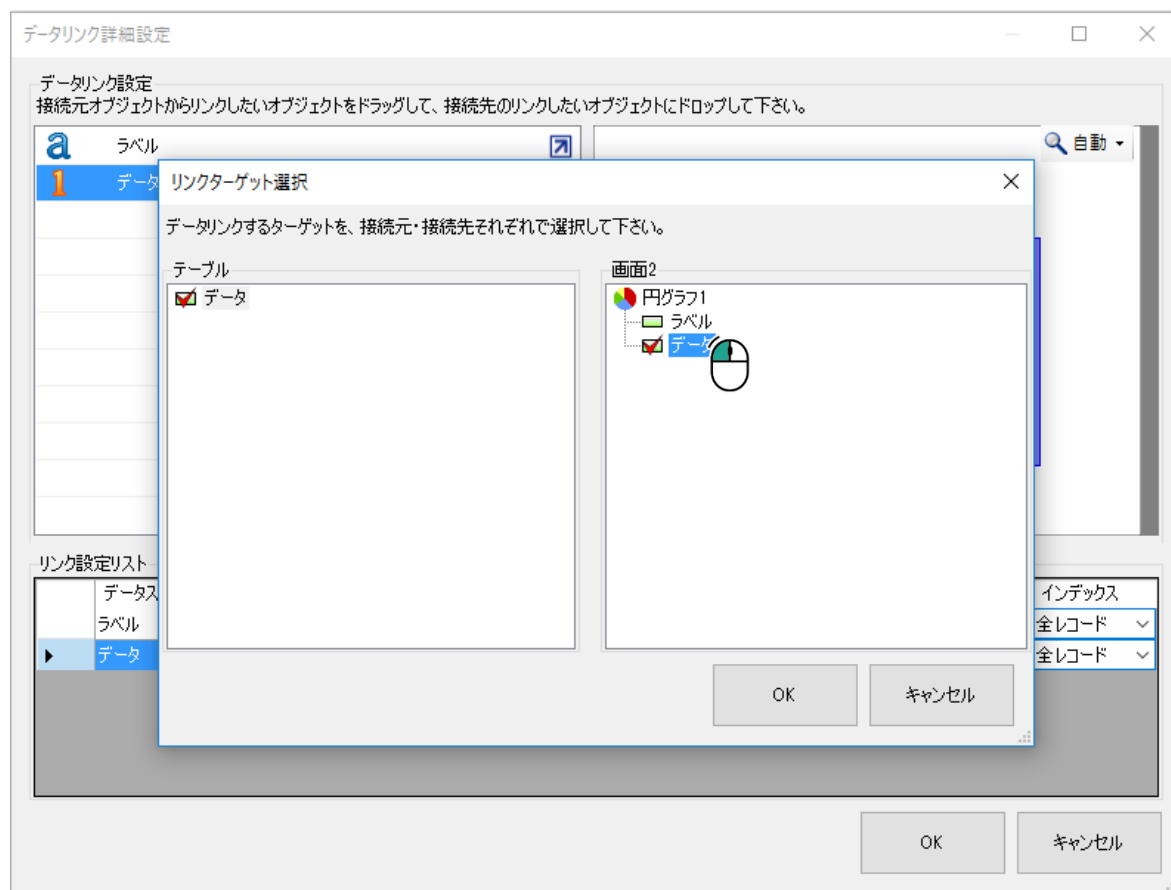
4 各商品の説明

4.2.2 データリンク設定

円グラフ・ドーナツグラフ部品の実データリンクは、固定で「ラベル」「データ」の2項目に対して設定します。

「ラベル」には凡例に表示する文字列、「データ」には、グラフに表示する値を設定します。

「ラベル」にデータリンクを設定しなかった場合、「データ*」という名称を自動的に設定します。（*には、1～の数字が入ります）



4.2.3 使用例

＜データ＞

テーブルデータ編集 [テーブル]

	ラベル	データ
	A	10
	B	20
	C	30
▶	D	40
*		

OK キャンセル

＜データリンク設定＞

データリンク詳細設定

データリンク設定
接続元オブジェクトからリンクしたいオブジェクトをドラッグして、接続先のリンクしたいオブジェクトにドロップして下さい。

ラベル データ

リンク設定リスト

データストア1テーブル	画面2	インデックス
ラベル	円グラフ1ラベル	全レコード
▶ データ	円グラフ1データ	全レコード

OK キャンセル

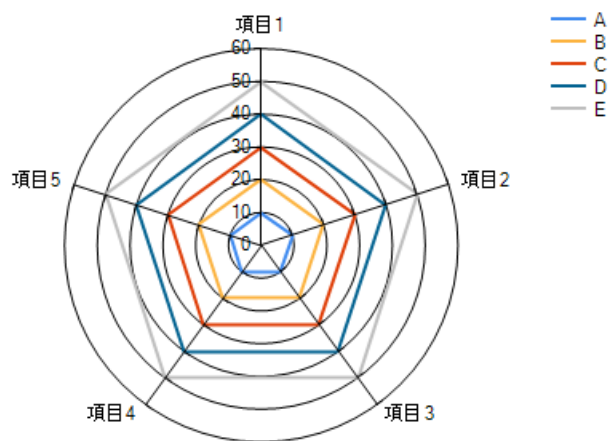
＜表示結果＞

A 10
B 20
C 30
D 40

4 各商品の説明

4.3 レーダーチャート

レーダーチャート部品は、複数の項目を縦軸にとり、縦軸の原点を1つにまとめて放射線状にあらわしたグラフを表示・印刷する部品です。



4.3.1 グラフ設定

レーダーチャート部品のグラフ設定画面です。

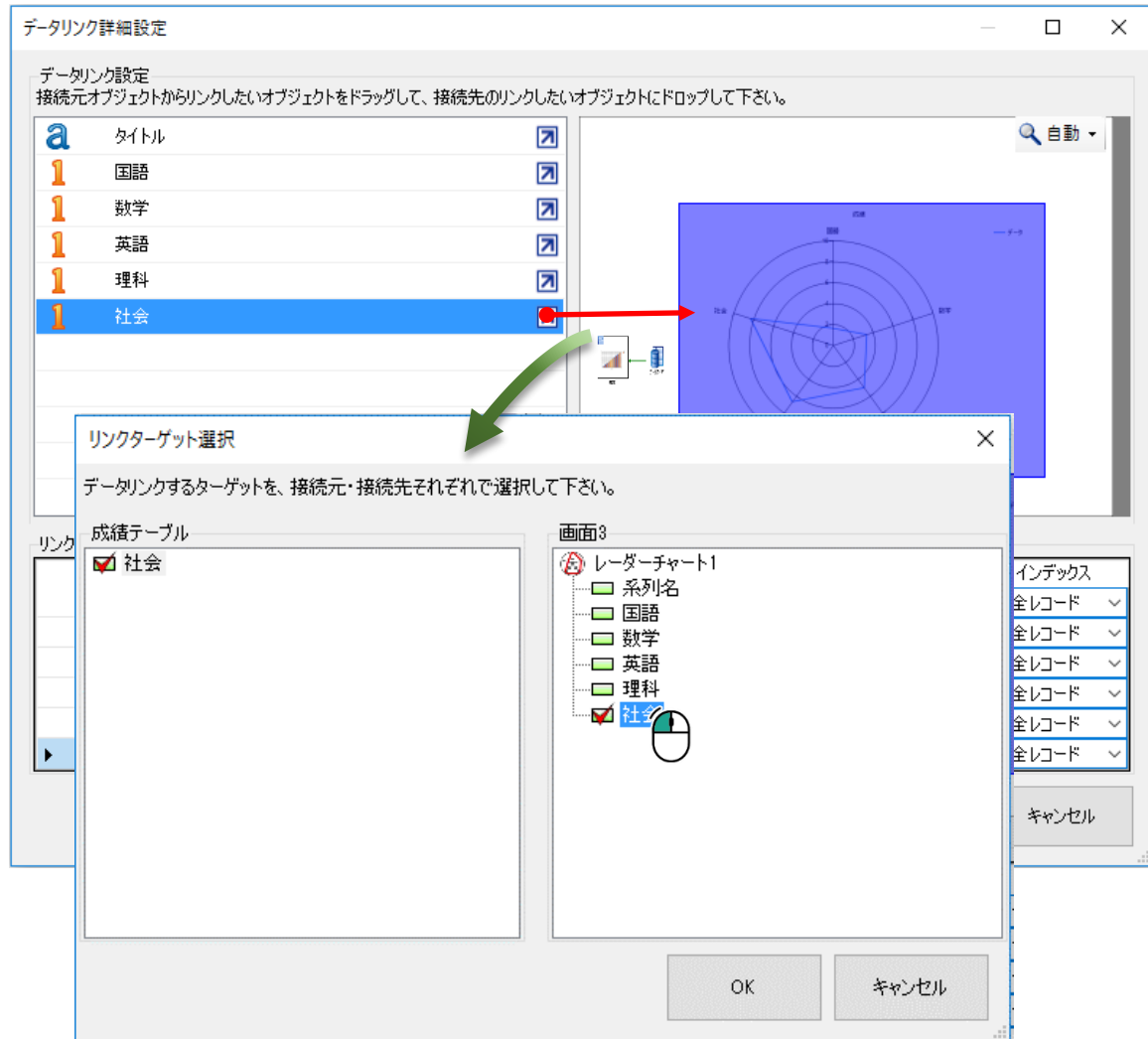
設定項目は、グラフ表示[タイトル、凡例表示、Y軸設定]、系統設定[名称]です。

系列設定では、項目の追加・削除と、名称の変更が可能です。追加された項目は、上から時計回りに均等配置されます。

Y軸設定にデータの範囲と目盛りを設定します。設定したデータの間隔に円が表示されます。

4.3.2 データリンク設定

レーダーチャート部品にデータリンクできる項目は、固定の「系列名」と、グラフ設定画面で追加した項目名です。「系列名」には、凡例に表示される名称を設定します。



グラフ設定画面で設定した項目名に対して、各項目のデータを設定します。

(上図では、「国語」「数学」「英語」「理科」「社会」の5項目に対してデータをリンクできます。)

4 各製品の説明

4.3.3 使用例

以下の例では、系統名に年度を指定し、各教科のデータをレーダーチャートの各項目に指定します。

<データ>

	タイトル	国語	数学	英語	理科	社会
第一回		60	65	60	70	60
第二回		65	70	65	75	65
第三回		70	75	70	68	70
第四回		75	70	75	72	75
第五回		80	78	85	80	80

<データリンク詳細設定>

データリンク詳細設定

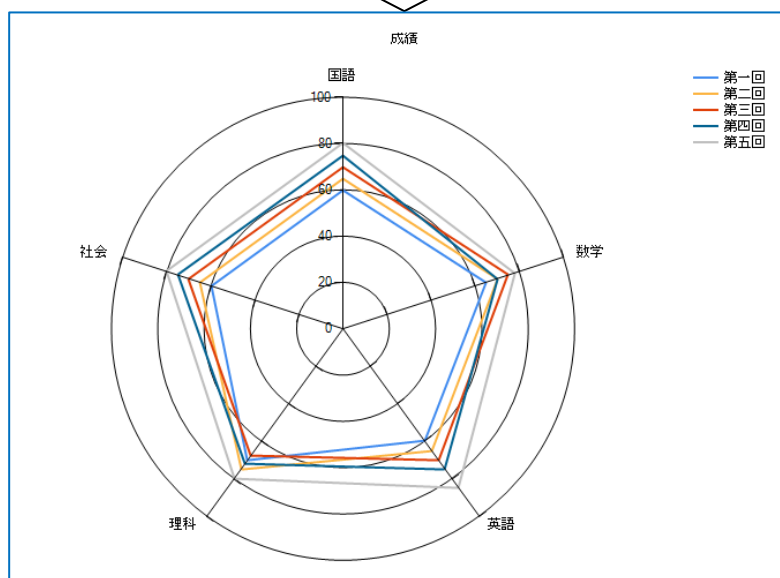
データリンク設定
接続元オブジェクトからリンクしたいオブジェクトをドラッグして、接続先のリンクしたいオブジェクトにドロップして下さい。

接続元	接続先
タイトル	レーダーチャート1:系列名
国語	レーダーチャート1:国語
数学	レーダーチャート1:数学
英語	レーダーチャート1:英語
理科	レーダーチャート1:理科
社会	レーダーチャート1:社会

リンク設定リスト

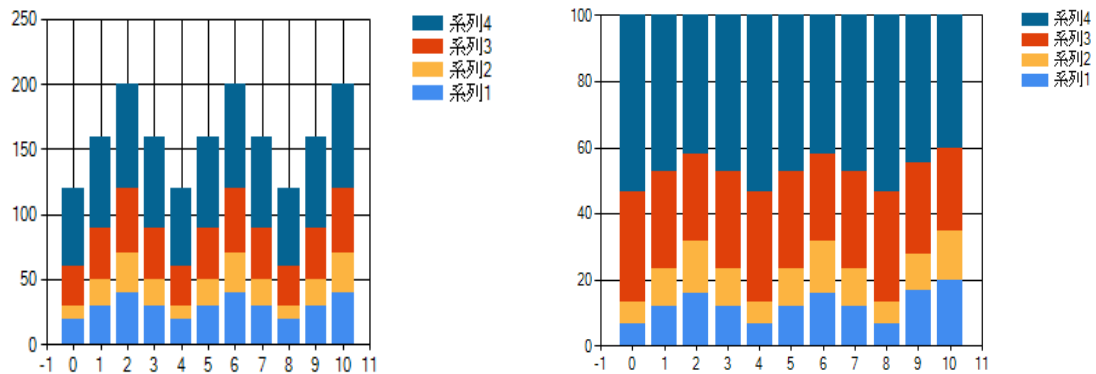
データストア1:成績テーブル	画面8	インデックス
タイトル	レーダーチャート1:系列名	全レコード
国語	レーダーチャート1:国語	全レコード
数学	レーダーチャート1:数学	全レコード
英語	レーダーチャート1:英語	全レコード
理科	レーダーチャート1:理科	全レコード
社会	レーダーチャート1:社会	全レコード

<表示結果>



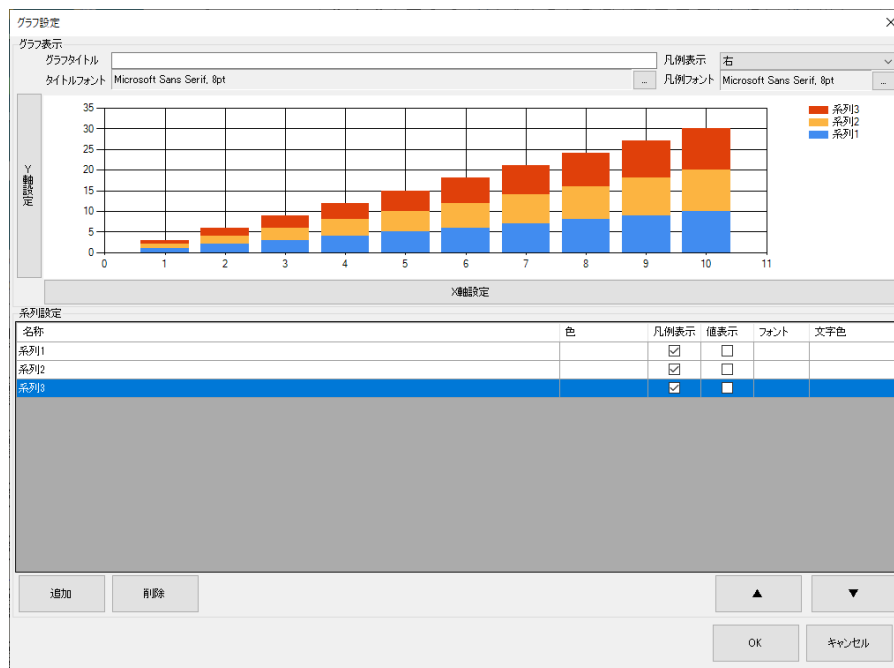
4.4 積上棒グラフ/割合棒グラフ

積上棒グラフ部品と割合棒グラフ部品は、複数の系列のデータを上へ1列に積み上げて表示するグラフを表示・印刷する部品です。



4.4.1 グラフ設定

積上棒グラフ部品のグラフ設定画面です。



設定項目は、グラフ表示[タイトル、凡例表示、Y軸設定、X軸設定]、系統設定[名称、色、凡例表示、値表示、フォント、文字色]です。

「グラフ」部品と同様に軸の設定を行います。

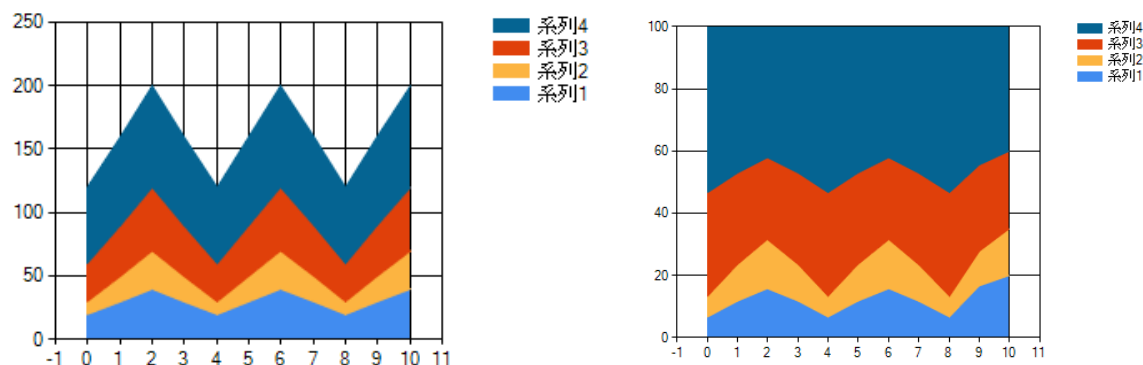
4.4.2 データリンク設定

積上棒グラフ部品と割合棒グラフ部品にデータリンクできる項目は、グラフ部品と同様です。

4 各 부품の説明

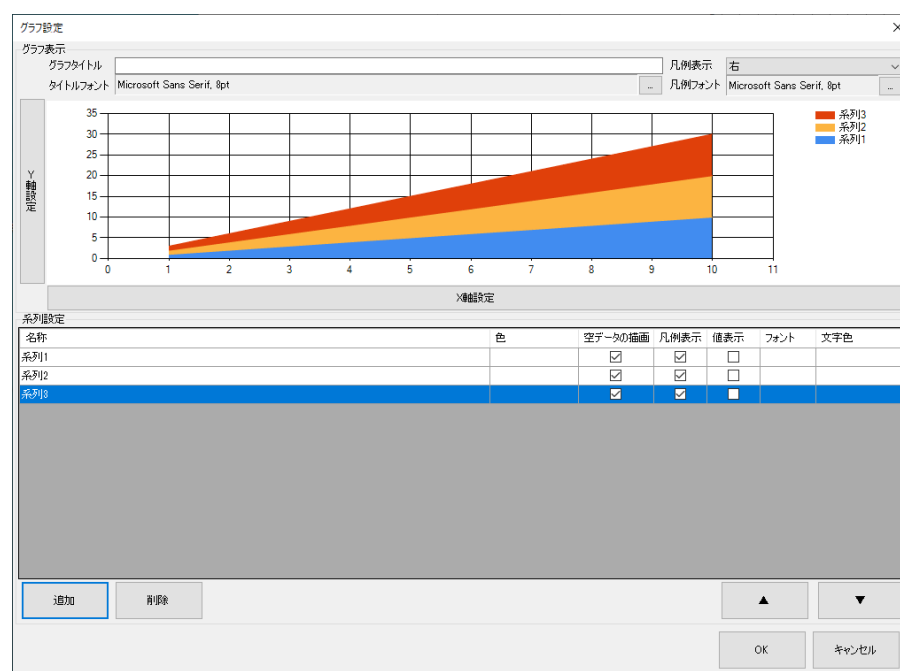
4.5 積上面グラフ/割合面グラフ

積上面グラフ部品と割合面グラフ部品は、複数の系列のデータを上に積み上げて表示するグラフを表示・印刷する部品です。



4.5.1 グラフ設定

積上面グラフ部品のグラフ設定画面です。



設定項目は、グラフ表示[タイトル、凡例表示、Y軸設定、X軸設定]、系統設定[名称、色、凡例表示、値表示、フォント、文字色]です。

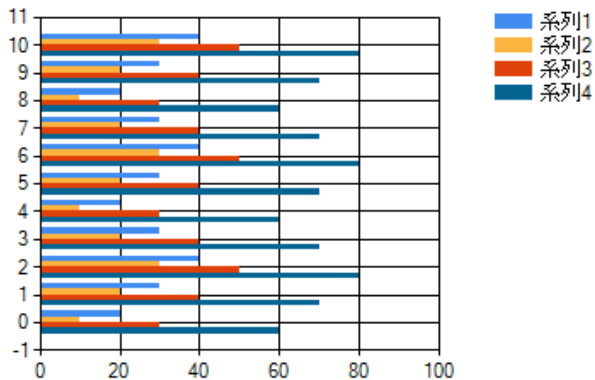
「グラフ」部品と同様に軸の設定を行います。

4.5.2 データリンク設定

積上面グラフ部品と割合面グラフ部品にデータリンクできる項目は、グラフ部品と同様です。

4.6 横棒グラフ

横棒グラフ部品は、数や量を横棒の長さであらわすグラフを表示・印刷する部品です。



4.6.1 グラフ設定

横棒グラフ部品のグラフ設定画面です。

名称	色	凡例表示	値表示	フォント	文字色
系列1		☒	☐		
系列2		☒	☐		
系列3		☒	☐		

設定項目は、グラフ表示[タイトル、凡例表示、Y軸設定、X軸設定]、系統設定[名称、色、凡例表示、値表示、フォント、文字色]です。

軸の設定は、垂直方向がX軸、水平方向がY軸となります。

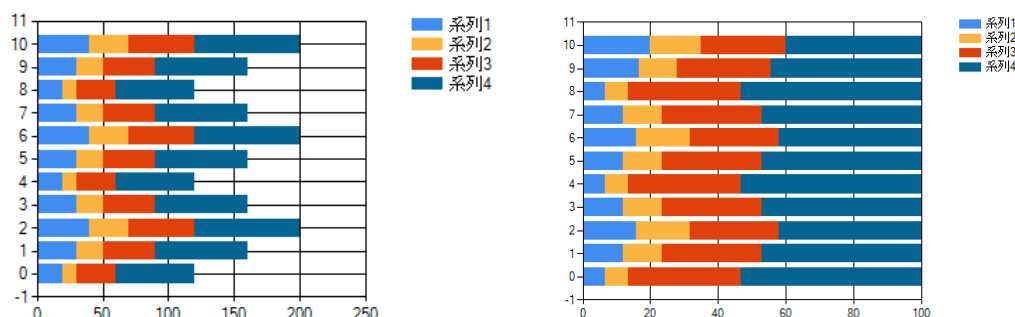
4.6.2 データリンク設定

横棒グラフ部品にデータリンクできる項目は、グラフ部品と同様です。

4 各 부품の説明

4.7 積上横棒グラフ/割合横棒グラフ

積上横棒グラフ部品と割合横棒グラフ部品は、複数の系列のデータを横へ1列に積み上げて表示するグラフを表示・印刷する部品です。



4.7.1 グラフ設定

積上横棒グラフ部品のグラフ設定画面です。

名称	色	凡例表示	値表示	フォント	文字色
系列1		☒	☐		
系列2		☒	☐		
系列3		☒	☐		

設定項目は、グラフ表示[タイトル、凡例表示、Y軸設定、X軸設定]、系統設定[名称、色、凡例表示、値表示、フォント、文字色]です。

軸の設定は、垂直方向がX軸、水平方向がY軸となります。

4.7.2 データリンク設定

積上横棒グラフ部品と割合横棒グラフ部品にデータリンクできる項目は、グラフ部品と同様です。

5. 帳票用部品について

帳票で使用するグラフ部品では、印刷するデータの範囲を指定できます。
データの範囲を指定することで、以下のような使い方ができます。

- ・ 複数ページの帳票の先頭ページにのみ全データのグラフを印刷する。
- ・ ページ毎に、そのページ内のデータのグラフを印刷する。
- ・ 全体のデータの個数に関係なく、常に一定の個数のデータを印刷する。

5.1 データ範囲の設定

データ範囲は、各部品のプロパティで設定します。



以下の 3 種類から選択します。

選択項目	概要
全データ	データリンクで受け取った全てのデータを使用してグラフを印刷します。この設定では、複数ページの印刷が行われる場合、全てのページに同じグラフが印刷されます。
ページ連動	ページ内で使用されるデータを使用してグラフを印刷します。 この設定の場合、グラフを配置したセクション以外のセクションで、繰り返し配置を設定する必要があります。 繰り返し配置を行わない場合、1 レコード分のみのグラフが印刷されます。
カスタム	「使用レコード数」に設定したレコード数のデータを使用してグラフを印刷します。 この設定は、固定のデータを使用してグラフを印刷する場合に使用します。

5 帳票用部品について

5.2 使用レコード数について

グラフで使用するデータのレコード数を指定できます。
データ範囲を「カスタム」に設定した場合、この設定が有効になります。

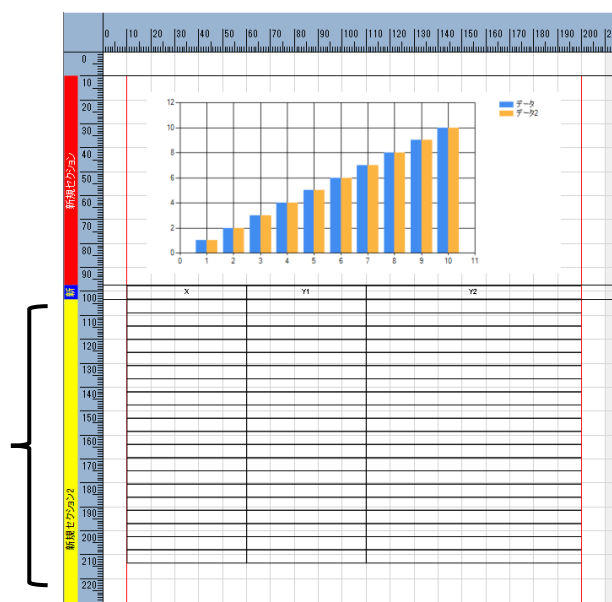
5.3 設定別の使用例

データ範囲の設定を行って印刷した結果の例を示します。

ここでは、50 レコードのデータを、以下の帳票フォーマットから印刷したときの結果を、データ範囲の設定別に示します。

名称	
名称	新規セクション2
位置・サイズ	
開始位置	103.45208
サイズ	183.547943
動作	
印刷ページ	全ページ
レイアウトタイプ	位置・サイズを固定しない
繰り返しモード	垂直配置
繰り返しマージン	0.0
Width	0
Height	0
繰り返し最大レコード	20
空白レコードの印刷	有効
偶数レコードの背景	
奇数レコードの背景	

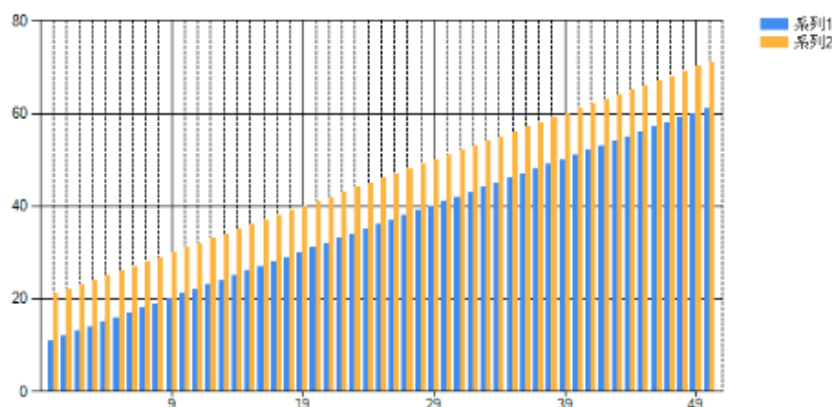
繰り返しモードで設定します



5.3.1 全データの例

レコード 0～20、21～40、41～50 の計 3 ページが印刷されます。

グラフの内容は全てのページで同一で、50 件分のデータ全てを使用してグラフが印刷されています。

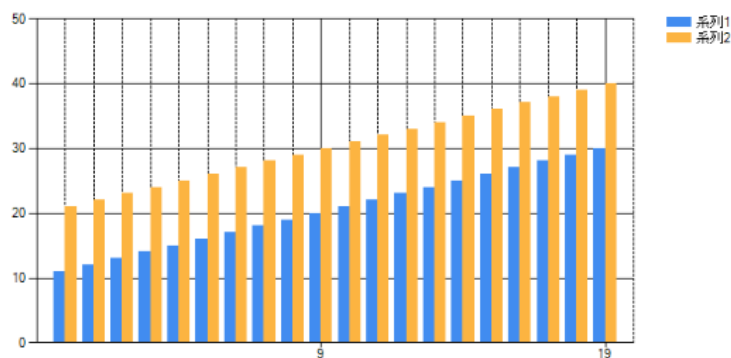


5.3.2 ページ連動の例

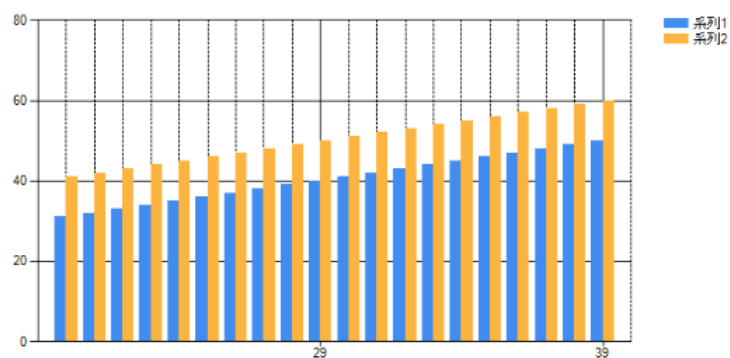
レコード 0～20、21～40、41～50 の計 3 ページが印刷されます。

グラフの内容はそれぞれのページで使用している範囲のデータで印刷されます。

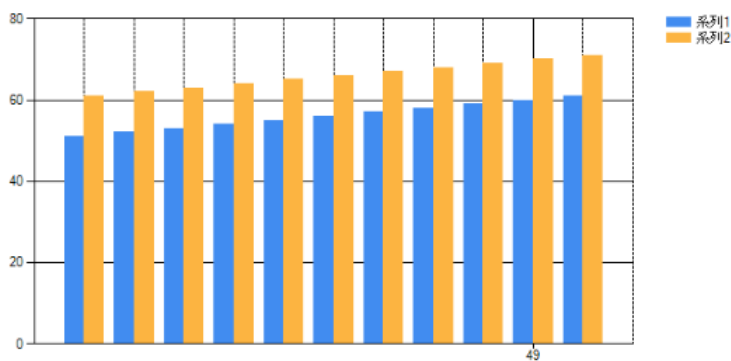
〈1 ページ目〉



〈2 ページ目〉



〈3 ページ目〉



5 帳票用部品について

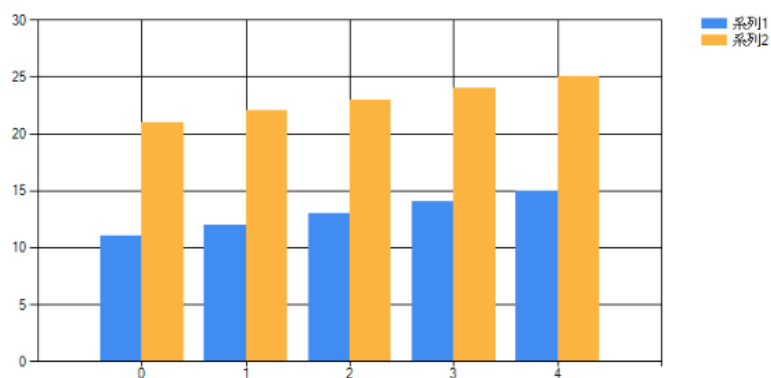
5.3.3 カスタムの例

使用レコード数を 5 にして印刷を実行します。

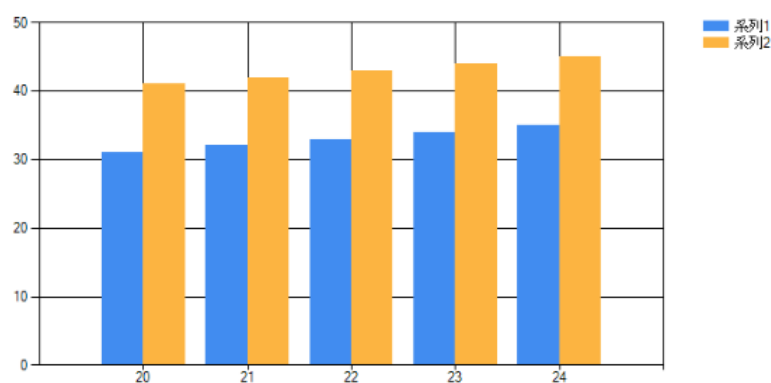
レコード 0～20、21～40、41～50 の計 3 ページが印刷されます。

グラフの内容は、それぞれのページの先頭 5 レコード分を使用して印刷されます。

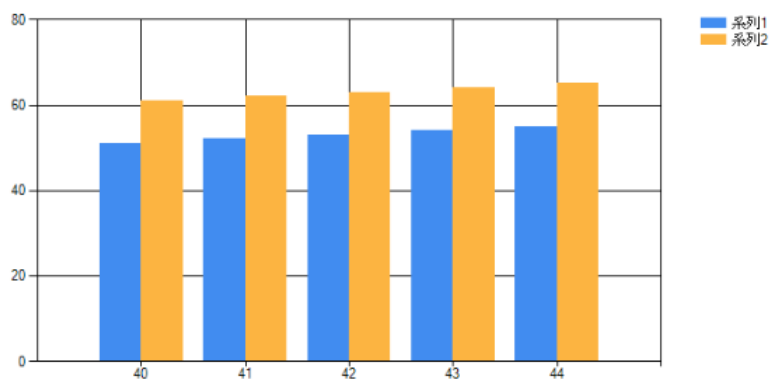
〈1 ページ目〉



〈2 ページ目〉



〈3 ページ目〉



6. 部品リファレンス

グラフ部品のプロパティ・機能・イベントは基準線関連の項目を除き、全て共通です。
※基準線関連のプロパティは、円グラフ、ドーナツグラフ、レーダーチャートには表示されません。

6.1 画面部品

画面にグラフを表示する部品です。

●プロパティ

名称

部品の名称を指定します。

位置

部品を表示する位置をピクセル単位で指定します。

サイズ

部品のサイズを指定します。

グラフ設定

グラフの表示内容を設定します。

背景色

背景色を指定します。

境界スタイル

境界のスタイルを指定します。以下から選択します。

境界線なし	境界線は表示されません。
鎖線	-----
一点鎖線	- . - . - . - . - .
二点鎖線	- - . - - . - - . -
点線	
実線	—————

境界線の太さ

境界線の太さを指定します。

境界線の色

境界線の色を指定します。

6 部品リファレンス

 基準値

基準線を表示する値を指定します。

 基準線のスタイル

基準線のスタイルを指定します。

境界線なし	境界線は表示されません。
点線	
破線	- - - - -
実線	—————

 基準線の太さ

基準線の太さを指定します。

 基準線の色

基準線の色を指定します。

 オーバー色

基準線を上回る系列色を指定します。
※グラフ、横棒グラフのみ設定できます。

 アンダー色

基準線を下回る系列色を指定します。
※グラフ、横棒グラフのみ設定できます。

 レコード数

データのレコード数を指定します。

 表示状態

部品の表示状態を指定します。

 有効/無効

部品の有効/無効状態を設定します。

◇機能

機能はありません。

□イベント

イベントはありません。

6.1.1 系列

グラフ部品の系列です。

●プロパティ



色



系列の色を指定します。



線種



グラフの線の種類を指定します。以下から選択します。

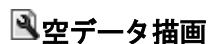
なし	線は表示されません。
鎖線	-----
一点鎖線	- . - . - . - . - .
二点鎖線	- - . - . - . - . - .
点線	
実線	—————



線の太さ



グラフの線の太さを指定します。



空データ描画



系列の空データ描画を指定します。



表示状態



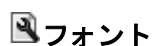
系列の表示状態を指定します。



値表示



系列に表示する値の表示状態を指定します。



フォント



系列に表示する値のフォントを指定します。



文字色



系列に表示する値の文字色を指定します。

6.2 帳票部品

帳票にグラフを表示する部品です。

●プロパティ



名称



部品の名称を指定します。



位置



部品を表示する位置をピクセル単位で指定します。

6 部品リファレンス

 サイズ

部品のサイズを指定します。

 グラフ設定

グラフの表示内容を設定します。

 背景色

背景色を指定します。

 境界スタイル

境界のスタイルを指定します。以下から選択します。

境界線なし	境界線は表示されません。
鎖線	— — — — —
一点鎖線	- . - . - . - . - .
二点鎖線	- - . - - . - - . -
点線	
実線	—————

 境界線の太さ

境界線の太さを指定します。

 境界線の色

境界線の色を指定します。

 基準線

基準線を表示する値を指定します。

 基準線のスタイル

基準線のスタイルを指定します。

境界線なし	境界線は表示されません。
点線	
破線	- - - - -
実線	—————

 基準線の太さ

基準線の太さを指定します。

 基準線の色

基準線の色を指定します。

 オーバー色

基準線を上回る系列色を指定します。
※グラフ、横棒グラフのみ設定できます。

 アンダー色

基準線を下回る系列色を指定します。
※グラフ、横棒グラフのみ設定できます。

 データ範囲

表示するデータ範囲を指定します。

全データ	全てのデータを使用してグラフを印刷します。
ページ連動	ページ内のデータを使用してグラフを印刷します。
カスタム	「使用レコード数」の設定を使用してグラフを印刷します。

 使用レコード数

「データ範囲」カスタムの際に使用するレコード数を設定します。

◇機能

機能はありません。

□イベント

イベントはありません。

6.2.1 系列

グラフ部品の系列です。

●プロパティ

 色

系列の色を指定します。

 線種

グラフの線の種類を指定します。以下から選択します。

なし	線は表示されません。
鎖線	-----
一点鎖線	- . - . - . - . - .
二点鎖線	— . — . — . — .
点線	
実線	—————

 線の太さ

グラフの線の太さを指定します。

 空データ描画

系列の空データ描画を指定します。

 表示状態

系列の表示状態を指定します。

6 部品リファレンス

 値表示

系列に表示する値の表示状態を指定します。

 フォント

系列に表示する値のフォントを指定します。

 文字色

系列に表示する値の文字色を指定します。

RADEN グラフプラグイン ユーザーズガイド

2016年 4月25日 第4版

2020年11月20日 第5版

2023年 1月11日 第6版

発 行

株式会社 KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2012 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.